

平成 20 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

①事務事業名		担当部課	部課コード	030400	TEL	2998-9092
事業コード	人権擁護委員協議会助成金	市民経済部 市民相談課				
030402		グループ 広聴・相談グループ				
補助開始年度		昭和	59	年度	→	終了予定年度
		平成		年度		

根拠法令	所沢市補助金等交付規則、人権擁護委員法、所沢市人権擁護委員協議会規則					
分野別計画・指針						
関連・類似事業						
総合計画の体系	政策	第7章 人々がふれあう温かいまち	施策	3節 人権尊重社会	中柱	2 人権尊重のまちづくり
					小柱	(2) 人と情報の交流の場づくり
行政改革大綱における行動計画への位置づけ						
コード		コード		コード		
補助開始の背景	社会生活の充実に合わせ、自由人権思想の啓蒙や人権擁護運動の醸成等が要請され、地域単位の充実に図る観点から「人権擁護委員法第16条」の設置規定に基づき県南西部地域を管轄する本協議会が設置された。					
補助の目的	人権擁護委員の資質向上を目指し、各種事業を通じて市民の啓発を行う。					団体への加盟数
団体における実施事業の概要	常務委員会及び市町村事務合同担当者会、委員研修会、人権ネットワーク事業、街頭啓発事業、展示会、小中学校対象の人権運動(人権作文、花いっぱい運動)など					5
						単位
						市

③経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	補助金支出額当初予算		1,347	1,337	1,341
	補助額決算(見込み含む)		1,332	1,337	
	臨時職員賃金		人	人	
	正規職員人件費		0.18 人	0.18 人	
	事業費合計		2,988	3,028	
	市民一人当たり(単位:円)		8.8	8.9	

④指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	団体活動実績	委員研修会	事業開催数	回	5	4		
		市民対象事業数	事業開催数	回	13	12		
	成果分析	市民の参加	講演会来場者数	目標値	2000	2000		
				実績	1610	850		
% 達成率				80.5	42.5			
				実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2		1		

⑤一次評価	補助金の有効性	評価項目	総合計画への貢献度	<input type="checkbox"/> 貢献度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度貢献している	<input type="checkbox"/> 貢献度は低い	
		成果分析に基づく目的の達成度	<input type="checkbox"/> 達成度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度達成している	<input type="checkbox"/> 達成度は低い		
		団体活動の自主性	<input checked="" type="checkbox"/> 自主性は高い	<input type="checkbox"/> ある程度自主的である	<input type="checkbox"/> 自主性は低い		
		事業費に占める補助金の割合	<input checked="" type="checkbox"/> 81%以上	<input type="checkbox"/> 61%~80%	<input type="checkbox"/> 41%~60%	<input type="checkbox"/> 21%~40%	<input type="checkbox"/> 20%以下
		活動内容及び会計処理の適切さ	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善余地がある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が大きい		
		今後の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 増大する	<input type="checkbox"/> 減少する	<input type="checkbox"/> 変わらない		
	H20 目標設定	目標項目	補助金積算の検討	達成水準	団体活動における啓発物等を見直しをする。	時期	10月
H21予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 終了		
上記評価理由(補助金の有効性及び予算の方向性)	人権擁護委員の活動内容は非常に幅広く、いじめや格差問題など新たな課題に向け重要性は増すが、補助金の人口による積算について見直し・検討する必要がある。						
評価日	平成20年5月14日	記入者職氏名	市民相談担当 系谷 秀夫				

⑥二次評価	次年度用評価	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標							<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日								

⑦個別計画の方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	施策の体系	施策の方向			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	基本目標				
	主要課題				
施策の方向					